

評価担当者	課名	氏名	内線
	学校教育課	小林一彦	3110

コード	V-12-27	施策名	基礎学力の定着と向上及び環境の整備
施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		
施策の目的	学校と家庭・地域とが、心の通い合う交流を通して「生きる力」をはぐくむ教育を推進することで、子どもたちが、ふるさと臼杵に誇りと愛着・希望を持ち、誠実に・たくましく育つための「学び」を目指すことを目的とします。		
施策の内容	各学校および臼杵市教育研究協議会での授業研究を充実させて、互いに授業力を高めていこうとする意識を醸成します。また、子どもたちの学習理解を深めるためにICTの活用を積極的に行い、わかりやすい授業実践を促します。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
○	臼杵市学力定着状況調査で全教科で偏差値50を超えた学校の割合	偏差値50を超えた学校(小学4~6年、中学1~2年)	目標	%	20.0	40.0	60.0	100.0	100.0
			実績	%	10.00	11.0	13	18	
			達成率	%	-	55.0%	32.5%	30.0%	
○	平日に1日1時間以上、家庭などで学習する小学6年生の割合	全国学力・学習状況調査(小学校6年生対象)	目標	%	60	65	70	75	80.0
			実績	%	59.0	63.4	62	70	
			達成率	%	-	105.7%	95.4%	99.7%	
○	平日に1日2時間以上、家庭などで学習する中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査(中学校3年生対象)	目標	%	52	55	60	60	70
			実績	%	50	42	42	53	
			達成率	%	-	79.8%	76.4%	88.2%	
○	1日1時間以上、ゲームをする児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	50.0	47.0	45.0	45.0	40.0
			実績	%	53.0	56.2	58.0	53.8	
			達成率	%	-	112.4%	123.4%	119.4%	
○	1日2時間以上、テレビなどを見る児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	60.0	57.0	55.0	54.0	50.0
			実績	%	61.8	58.2	55.0	56.6	
			達成率	%	-	97.0%	96.5%	102.9%	
○	ICTを活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行った学校の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	50	60	70	80	90.0
			実績	%	53	63	75		
			達成率	%	105.2%	105.0%	107.1%		
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析

臼杵市学力定着状況調査においてすべての小中学校で偏差値50を超えることができました。しかし、学校間の格差があることが課題です。家庭学習の時間は、昨年よりも増えてはいるものの目標値には達せず、テレビを見る時間は、増えています。学校と家庭の連携を深め、家庭における過ごし方の改善、家庭学習時間の確保に取り組む必要があります。学校におけるICTを活用した問題解決型に授業の実施率は目標値を超え、授業改善は進んでいるといえます。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(H29調査)	強化領域	2.36	1.41	2.05
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、学力向上に対する市民の期待感の表れだと思われます。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	生徒による授業評価を活かした、教師の授業力向上の取り組みにより、小学校中学校共に学力テストの改善が見られていますが、学校間格差や教科により課題があります。各学校での研修内容の充実、臼杵市教育研究協議会での授業研究を充実させるとともに、家庭での学習習慣の定着も喫緊の課題といえます。家庭でのテレビやゲーム等のメディアに触れる時間を決め、生活習慣改善に対して家庭との協働が必要で、市P連との連携や各学校でのPTAの研修に位置づけるなど家庭教育の充実とあわせ、子どもの生きる力を育む学力向上への取り組みが必要です。
-------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1	市教育研究協議会補助金	授業研究や教材研究を行う協議会に補助を行うことで、教職員の資質・力量を高め授業力の向上を図ります。	学校教育課		2,499	2,499	2,499	—	
2	ICT活用教育推進事業	パソコン、大型モニタ、タブレット端末を整備し、学力向上を図ります。	学校教育課		10,506	10,048	9,000	継続	
3	小中一体教育推進事業	中学校を1つのブロックとして、小中学校9年間の教育目標・方針を明確にし教育活動を行います。	学校教育課		1,077	1,917	1,917	—	V-12-28
4	学力向上対策事業費	学力向上に対する教職員の配置や研修を行います。授業力改善等の取組による児童生徒の学力状況調査を実施します。	学校教育課		23,795	35,024	35,000	重点継続	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計					37,877	49,488	48,416		

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	基礎学力の定着と向上に向け、継続して授業改善に力を入れる必要があります。3つの提言重点校の取り組みを臼杵市全体に広げ、小中一体教育の部会、臼杵市研究協議会とも連動してミドルリーダーが主体的に各校において推進していくべきです。昨年度より取り組んでいる数楽(すうがく)プロジェクトや校長会主体の学力向上プロジェクト等により基礎学力の向上、学び残しゼロを目指して継続して取り組んでいく必要があります。	課長評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--